

～ 11月7日・8日は「いいな、いい歯」の日、11月14日は「世界糖尿病デー」です。～

糖尿病と歯周病について

糖尿病

糖尿病は、血液中のブドウ糖の濃度（血糖値）が高い状態が続く病気です。初期には痛みなどの自覚症状が乏しいですが、放置すると病気が進行し、深刻な合併症を引き起こします。糖尿病の合併症には、腎症、網膜症、神経障害、動脈硬化などがあります。



歯周病

歯周病は、歯と歯ぐきの境目に汚れ（歯垢）がたまり、その中にひそんでいる細菌（歯周病菌）によって歯ぐきに炎症が起こり、出血や腫れが起こる病気です。歯周病は、歯を失う原因の第1位であり、30歳以上の成人の約80%が、歯周病にかかっているといわれています。



実は密接に関係する病気なんです！

糖尿病で高血糖状態が続くと、免疫力が低下し、細菌やウイルスが感染・増殖しやすく、糖尿病が悪化すると歯周病も悪化します。また、歯周病の菌から出る毒素が血液を介して全身に広がり、それがインスリンの働きを妨げ、糖尿病が発症・進行しやすくなります。

糖尿病と歯周病は悪影響を及ぼし合う一方で、歯周病の治療をすると血糖値も改善することがわかっています。また、食事や運動などの生活習慣を改善し、血糖値が安定することで歯周病の症状の改善も期待できます。

歯周病は定期的に検診を受けることが大切です。

桂川町では、下表の方に令和4年5月に歯周病検診の受診券を送付しています。まだ、歯周病検診を受診していない方は、この機会にぜひ受診ください。受診券を紛失された場合は、健康推進係までご連絡ください。

〈令和4年度 歯周病健診対象者〉

年齢	生年月日
40歳	昭和57年4月2日 ～ 昭和58年4月1日
50歳	昭和47年4月2日 ～ 昭和48年4月1日
60歳	昭和37年4月2日 ～ 昭和38年4月1日
70歳	昭和27年4月2日 ～ 昭和28年4月1日

